RHEL資料の探しかたとよく参照される資料

2020-09

この資料の位置づけ

- 対象: RHELにあまり馴染みがない人
- 目的: RHELについてよく質問・参照される各種の資料について、情報が存在すること、リンクの提示、注意点などをまとめて紹介する。

目次

- 公式ドキュメント
- ナレッジベース
 - カスタマーポータルの検索
 - Solution Engine
- rpmパッケージの検索
- 脆弱性情報 errata情報
- ライフサイクルポリシー
- Red Hat Enterprise Linux のサポートポリシーについてよく利用されるナレッジ
- 3 サービスステータス

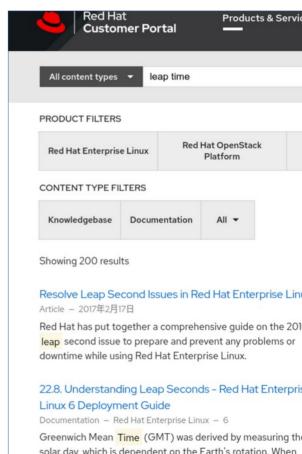
公式ドキュメント

- カスタマーポータル内「ドキュメント」からリンク
 - 旧URL https://docs.redhat.com/ からリダイレクトされるので、URLを手打ちする場合は便利
- 製品一覧が表示されるが、RHELに関係するものが多数あるので要注意
 - Red Hat Enterprise Linux: ほとんどのドキュメントはこの中に存在する
 - .NET Core: RHELに同梱されている
 - Red Hat Developer Toolset: RHEL 7まで同梱(8からはRHELの一部)
 - Red Hat Software Collections: RHEL 7まで同梱(8からはRHELの一部)
 - Red Hat Enterprise Linux for Real Time: RHEL for Real Time購入時に使えるツール類の紹介
 - Red Hat Insights: 全てのRHELで利用可能な診断ツール
 - Red Hat Subscription Management: RHELのサブスクリプション管理
 - Red Hat Identity Management: RHELに含まれる認証基盤
 - Red Hat Enterprise Linux Atomic Host: RHEL 7のコンテナ関連アップデートはこの中に記載
 - **Red Hat Satellite**: Smart Managementアドオン購入時に利用できるサーバ

ナレッジベース(カスタマーポータルの検索)

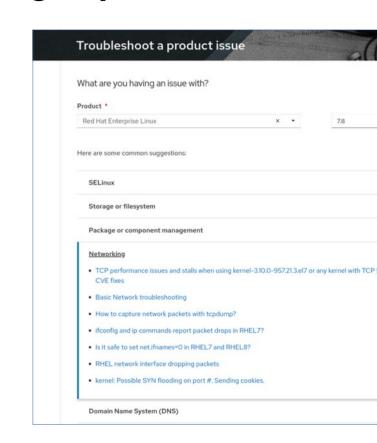
数十万ページのナレッジベースを提供しています。

- 一覧はなく、キーワード検索とフィルタによりアクセスします。
- カスタマーポータル最上部にある虫めがねアイコンで検索キー ワードを指定
- 結果ページで製品と、コンテンツのタイプを指定して絞り込み
 - コンテンツのタイプにKnowledgebaseがある
- (ほとんどの)ナレッジベースの参照にはサブスクリプションが必要
 - ナレッジベースの記事を探す場合はGoogle検索ではなく、カスタマーポータル内の検索を使うと本文も検索できる
 - 購入前に必要そうな一部の記事は一般公開されている



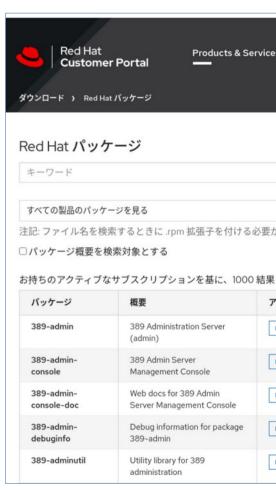
ナレッジベース(Solution Engine)

- ナレッジベースのもう一つの検索方法 https://access.redhat.com/solution-engine/
- トラブルシュートに特化
 - 利用製品・バージョン・ジャンルで検索し、 よく参照されるナレッジを表示
 - 適切なナレッジベース記事がみつからない 場合、次のページへ進むとサポートへ 問いあわせできる



rpmパッケージの検索

- 持っている製品で利用可能なrpmパッケージを検索できる https://access.redhat.com/downloads/content/package-browser
- パッケージ名、概要でキーワード検索をして絞りこみ、アーキテクチャーをクリックすると各パッケージのダウンロードページを表示。ダウンロードページ内でパッケージのバージョンおよび該当製品を確認できる。
- パッケージの有無はサポート可否とは独立しているので注意
 - OptionalやSupplementaryリポジトリ、Extrasリポジトリの最新でないパッケージなどは利用可能だがサポートされない。
 - 既にサポート期間が終了したパッケージも表示される。



脆弱性情報 • errata情報

- Red Hat製品全体の脆弱性情報(CVE IDで検索可)
 - https://access.redhat.com/security/security-updates/#/cve
- RHELだけのエラータ情報はダウンロードページの「エラータ」タブ内が便利
 - RHEL 8のエラータ情報: https://access.redhat.com/downloads/content/479/ver=/rhe l---8/8.2/x86 64/product-errata

製品のソフトウェア Modules パッケージ

Red Hat Enterprise Linux for x86_64 **Ø**I

Show 25 v	entries
アドバイ ザリー番 ⇒ 号	概要
RHBA- 2020:3777	updated rhel8/mysql-80 contain
RHBA- 2020:3758	updated Red Hat Enterprise Linu images
RHSA- 2020:3732	Important: mysql:8.0 security up
RHSA- 2020:3714	Important: httpd:2.4 security upo
RHSA-	Important: dovecot security upd

Build .NET Core Images

bind bug fix and enhancement u

2020:3713

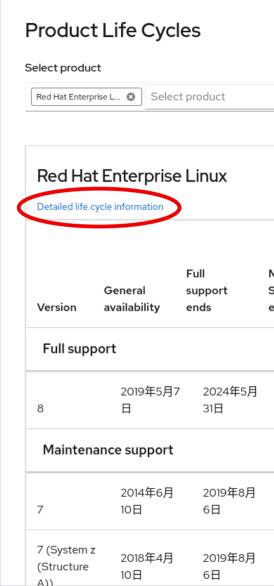
RHBA-

RHBA-

2020:3701

ライフサイクルポリシー

- カスタマーポータルで、Products&Services 内のProduct Life Cycleを参照するとコンパク トな表が表示されます。
 - https://access.redhat.com/product-life-cycles?product=Red%20Hat%20Enterprise%20Linux
- それぞれの項目の意味や、詳細なポリシーは "Detailed life cycle information" というリンク から辿れます



Red Hat Enterprise Linux のサポートポリシーについてよく利用されるナレッジ

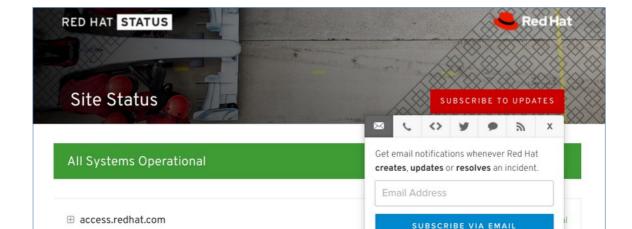
- ライフサイクルの定義だけでは不足するため、ナレッジベース の記事としてRed Hatのサポートポリシーを表明しています
- 主要なものは以下の記事からリンクされています
 - 「Red Hat Enterprise Linux のサポートポリシーについてよく利用されるナレッジ」 https://access.redhat.com/ja/articles/1520083
- 不明なものはサポートまたは営業窓口までご確認ください

サービスステータス

access.redhat.comやcloud.redhat.comなどのサービスは計画的 なメンテナンスや事故によるサービス停止があります

• https://status.redhat.com で現在のステータスと過去の履歴を確認できるほか、各種の方法で通知を受けとる設定がおこなえ

ます。



まとめ

- 公式ドキュメント
- ナレッジベース
 - カスタマーポータルの検索
 - Solution Engine
- rpmパッケージの検索
- 脆弱性情報 errata情報
- ライフサイクルポリシー
- Red Hat Enterprise Linux のサポートポリシーについてよく利用されるナレッジ
- 12 サービスステータス